

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 6 年 6 月 28 日

郡山市長殿



提出者 株式会社 ヨークベニマル
 住 所 福島県郡山市字石塚56-1
 氏 名 代表取締役社長 大高 耕一路

(法人にあっては名称及び代表者氏名)

電話番号 024-900-9339

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社 ヨークベニマル (郡山第3ファクトリー)
事業場の所在地	福島県郡山市字石塚56-1
事業の種類	各種商品小売業 (56)
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年 4月 1日 から 令和7年 3月 31日まで

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1677.86 t	全処理委託量	1677.86 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	- t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	1677.86 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	- t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：動植物性残渣(生ごみ))

不要物等発生量

有償物量

(単位:t)

自ら直接
再生利用した量

②

排出量

① 1,198.03

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③

項目

実績値

① 排出量	1,198.03
② + ⑧ 自ら再生利用 を行った量	
⑤ 自ら熱回収を行った量	
⑦ 自ら中間処理により 減量した量	
③ + ⑨ 自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	
⑩ 全処理委託量	1,198.03
⑪ 優良認定処理業者への 処理委託量	
⑫ 再生利用業者への 処理委託量	1,198.03
⑬ 熱回収認定業者への 処理委託量	
⑭ 熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥

自ら
中間処理した量

④

④のうち熱回収
を行った量

⑤

自ら中間処理
により減量した量

⑦

直接及び
自ら中間処理した後の
処理委託量

⑩

1,198.03

⑪ 優良認定
処理業者への
処理委託量

⑫

⑪のうち優良
認定業者以外の
熱回収を行う業者への
処理委託量

⑬

⑪のうち 再生利用業者への 処理委託量	1,198.03
⑫	

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類 : 汚泥)

不要物等発生量	有償物量
	① 223.80

(単位:t)

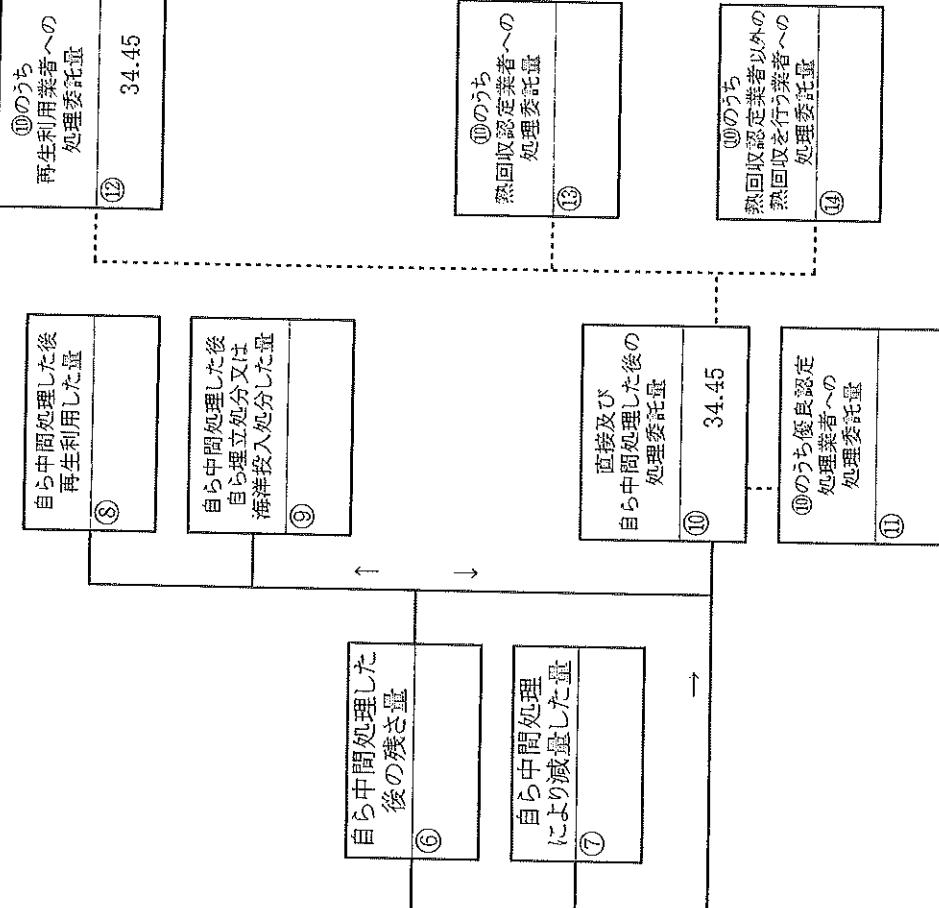
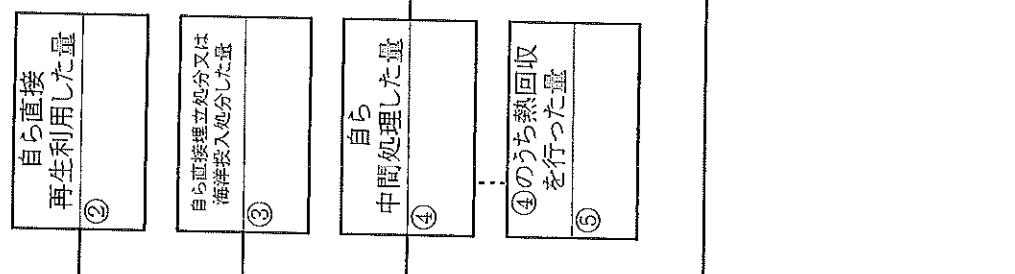
項目	実績値
① 排出量	223.80
②+③ 自ら直接再生利用した量	②
④ 自ら中間処理した量	④
⑤ 自ら熱回収を行った量	⑤
⑥ 自ら中間処理した後の残さ量	⑥
⑦ 自ら中間処理により減量した量	⑦
⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量	⑧
⑨ 自ら中間処理した後埋立又は海洋投入処分した量	⑨
⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ のうち 再生利用業者への 処理委託量	⑪ 223.80
⑪ ⑫ ⑬ ⑭ のうち 熱回収認定業者への 処理委託量	⑫
⑮ ⑯ ⑰ ⑱ のうち 熱回収を行った業者への 処理委託量	⑯
⑲ ⑳ ㉑ ㉒ のうち 優良認定業者への 処理委託量	㉑
㉓ ㉔ ㉕ ㉖ のうち 再生利用業者への 処理委託量	㉔
㉗ ㉘ ㉙ ㉚ のうち 熱回収認定業者への 処理委託量	㉙
㉛ ㉜ ㉝ ㉞ のうち 熱回収を行った業者への 処理委託量	㉝

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃プラ)

不要物等発生量	有賃物量
(単位:t)	排出量
① 34.45	自ら直接再生利用した量 ②
	自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 ③
	自ら中間処理した量 ④
	自ら熱回収を行った量 ⑤
	自ら中間処理により減量した量 ⑥
	自ら中間処理による減量した量 ⑦
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量 ⑧
	全処理委託量 ⑩ 34.45
	⑪ 優良認定処理業者への処理委託量 ⑫ 再生利用業者への処理委託量 ⑬ 熱回収認定業者への処理委託量 ⑭ 熱回収を行う業者への処理委託量



(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 金属くず)

有償物量

不要物等発生量

自ら直接
再生利用した量
②

排出量

① 0.29

自ら直接投入又は
海洋投入処分した量
③

項目 累積値

① 排出量 0.29

②+③ 自ら再生利用
を行った量

⑤ 自ら熱回収を行った量

⑦ 自ら中間処理により
減量した量⑨ +⑩ 自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った量

⑪ 全処理委託量 0.29

⑪ 優良認定業者への
処理委託量⑫ 再生利用業者への
処理委託量 0.29⑬ 熱回収認定業者への
処理委託量⑭ 熱回収を行う業者への
処理委託量

)

↓

自ら中間処理した後
再生利用した量
⑧自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量
⑨↑ ↓
自ら中間処理した
後の残さ量
⑥↓
自ら中間処理
により減量した量
⑦↓
直接及び
自ら中間処理した後
の処理委託量
⑩↓
⑪
⑫
⑬
⑭⑪のうち
再生利用業者への
処理委託量
⑫⑪のうち
熱回収認定業者への
処理委託量
⑫

⑬

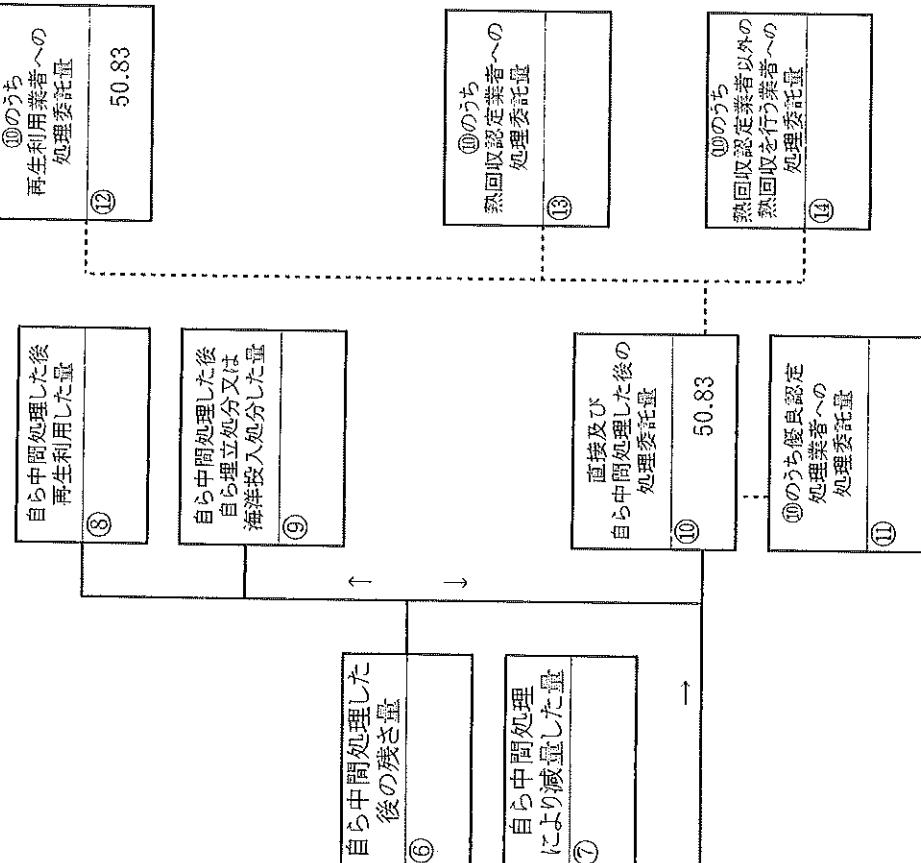
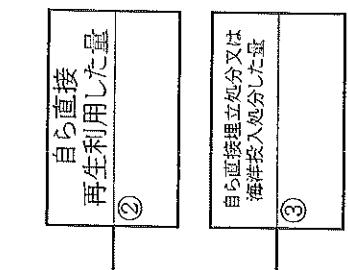
⑭

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類 : 動植物性 廃油)

項目	実績値
① 排出量	50.83
② + ⑧ 自ら再生利用を行った量	
⑤ 自ら熱回収を行った量	
⑦ 自ら中間処理により減量した量	
③ + ⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑪ 全処理委託量	50.83
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	
⑫ 再生利用業者への処理委託量	50.83
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	
⑭ 熱回収を行いう業者への処理委託量	



(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類 : 170.46)

不要物等発生量	
(単位:t)	

排出量	
(①)	170.46

項目	実績値
① 排出量	170.46
② + ⑧ 自ら再生利用を行った量	
⑤ 自ら熱回収を行った量	
⑦ 自ら中間処理により減量した量	
③ + ⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩ 全処理委託量	170.46
⑪ 良認定業者への処理委託量	
⑫ 再生回収認定業者への処理委託量	170.46
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	
⑭ 熱回収を行う業者への処理委託量	

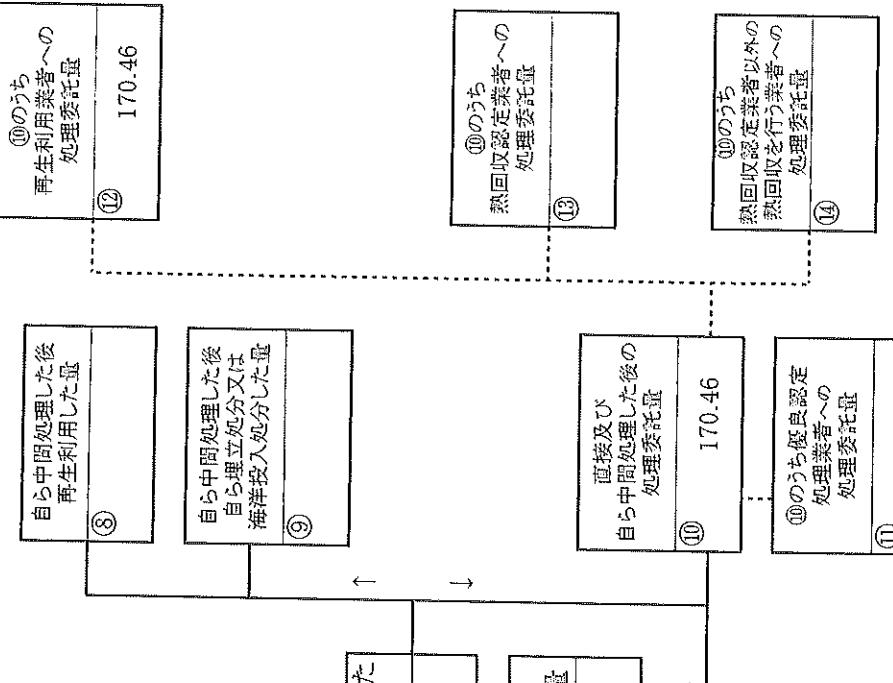
自ら直接再生利用した量	(②)
自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	(③)

自ら中間処理した量	(④)
④のうち熱回収を行った量	(⑤)

自ら中間処理により減量した量	(⑦)
自ら中間処理した後の残さ量	(⑥)

直接及び自ら中間処理した後の残さ量	(⑪)
自ら中間処理した後の残さ量	(⑫)

⑪のうち 熱回収認定業者への 処理委託量	(⑬)
⑪のうち 熱回収を行いう業者への 処理委託量	(⑭)



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑪の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときには、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度(令和5年度)実績】

産業廃棄物の種類	動植物性残渣(生ごみ)	汚泥	廃プラ	金属くず
全処理委託量	1198.03 t	223.80 t	34.45 t	0.29 t
優良認定処理業者への 処理委託量	- t	- t	- t	- t
再生利用業者への 処理委託量	1198.03 t	223.80 t	34.45 t	0.29 t
認定熱回収業者への 処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	- t	- t	- t	- t
	(これまでに実施した取組み) リサイクル利用を目的とした、処理業者を選定し循環型を視野に取組む。			

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	動植物性残渣(生ごみ)	汚泥	廃プラ	金属くず
全処理委託量	1120.00 t	150.00 t	30.00 t	0.20 t
優良認定処理業者への 処理委託量	- t	- t	- t	- t
再生利用業者への 処理委託量	1120.00 t	150.00 t	30.00 t	0.20 t
認定熱回収業者への 処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	- t	- t	- t	- t
	(これまでに実施した取組み) これまで実施した取組みを継続し、廃棄物処理業者を選定する際には、優良認定業者から行うことを探進する。			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度(令和5年度)実績】

産業廃棄物の種類	動植物性 廃油	脱水汚泥	廃乾電池	
全処理委託量	50.83 t	170.46 t	0.00 t	- t
優良認定処理業者への 処理委託量	- t	- t	- t	- t
再生利用業者への 処理委託量	50.83 t	170.46 t	0.00 t	- 1
認定熱回収業者への 処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	- t	- t	- t	- t
	(これまでに実施した取組み)			
	リサイクル利用を目的とした、処理業者を選定し循環型を視野に取組む。			

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	動植物性 廃油	脱水汚泥	廃乾電池	
全処理委託量	45.00 t	150.00 t	0.00 t	- t
優良認定処理業者への 処理委託量	- t	- t	- t	- t
再生利用業者への 処理委託量	45.00 t	150.00 t	0.00 t	- t
認定熱回収業者への 処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	- t	- t	- t	- t
	(これまでに実施した取組み)			
	これまで実施した取組みを継続し、廃棄物処理業者を選定する際には、優良認定業者から行うことを推進する。			

廃棄物処理フローシート

